

令和3年度赤江まつばら支援学校 学校関係者評価

(保護者評価に対して)

評価指標	A	B	C	D	E
1 幼児児童生徒が、毎日の登校を楽しみにすることのできる授業づくりと学びの保障					
「わかった、できた」という達成感や成就感が味わえるよう授業を工夫し、成功経験を積み重ねることで登校意欲を高めることができるよう取り組んでいる。	4				
幼児児童生徒一人一人の実態に応じて、適切な学びの保障が受けられるよう、ICT教育の推進と実践の充実が図られている。	3	1			
2 感染症や自然災害等の対策の徹底と体制づくりの充実					
新型コロナウイルス感染症を含めた、感染症の予防と対策を徹底するよう取り組まれている。	4				
南海トラフ地震等による津波への備え及び訓練等の対策を徹底し、命を大切にす教育の充実が図られている。	4				
3 一人一人の個性を大切にする高い人権感覚の醸成					
いじめ等がないよう、幼児児童生徒の日々の変化に注意をはらい、早期に対応できる体制の充実が図られている。	3	1			
SNS等の適切な使用について理解を深め、一人一人を大切にし、誹謗中傷等がないよう大人も含め学校全体として人権意識を高めている。	1	3			
4 病弱特別支援学校としてのセンター的機能の充実					
県内唯一の病弱特別支援学校として、地域のニーズに対応できるように取り組んでいる。	2	2			
5 病院や関係機関との連携の充実					
病院や関係機関等と連携を密にし、一人一人の幼児児童生徒の実態を共通理解しながら指導・支援が実践されている。	1	3			
6 個人情報の取扱いの徹底					
保護者や幼児児童生徒と職務の範囲を超えることなく、適切な連携が図られている(各職員の携帯番号を教えたり、子供や保護者と私的なメールのやり取りをしたりしていない。)	4				

■評価基準■

【A】よく当てはまる 【B】当てはまる 【C】あまり当てはまらない 【D】全く当てはまらない 【E】分からない